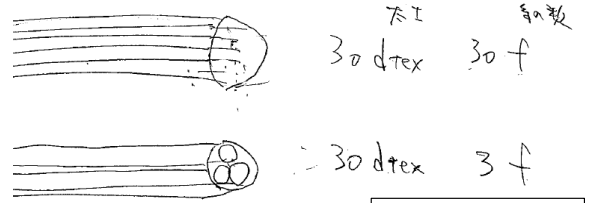
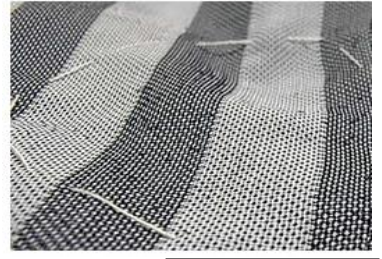


苦情事例登録用紙

登録 No. NI-19- 005
登録日 2020 年 1 月 20 日

商品名		分類 I	分類 II	分類 III	分類 IV	分類 V	苦情原因・ 現象の分類	外観変化
パンツ		婦人	外衣	織物	外観	着用		
表示事項	組成	表地 ポリエステル 100% 裏地 キュプラ 100%		取扱	付記用語			サイズ
				   				原産国
苦情内容		(消費者 → アパレル) ・わずかの着用で部分的に黒い糸が飛び出してきた						
外観		・左ふとももから膝にかけて織糸が飛び出している (図1)						
聞き取り・ 調査結果	①商品の外観 ・糸飛び出しの状態を確認する 黒い糸のみが飛び出し、糸端が切れている ・発生している部位 (部分的か全体的か) を確認する 両方の膝下あたりに発生している ②着用/取扱い状況 (消費者への聞き取り) ・バッグの使用など繰り返し擦れたり、局部的に力がかかることはなかったか ・使用しているバッグのデザイン、金具の有無、素材などを確認する ③材料特性・染色 ・繊維組織の状態を観察する (白糸と黒糸の撚り数の違いなど)							
								図2 糸飛び出し部分の拡大写真
検討事項	①商品の外観 ・拡大鏡で確認すると黒い糸は撚りが甘いように見える (図2) ②材料特性・染色 ・糸使い フィラメントカウントを調査する 同じdtexでもフィラメントカウントが多いと糸が細く柔らかくなり、切断しやすい (図3) ③再現試験 ・JIS L 1058 スナッキング試験を行う。販売前の同試験結果は3級							
								図3 糸使いの例
苦情原因		①黒糸が飛び出している位置などの状況を考えると、手持ちのバッグなどによる摩擦や引っかけによって引き出されたものと推定 ②繊維組織を見ると黒い糸の浮きが多く渡り距離が長いので、簡単に引き出されやすい ③顕微鏡観察を行うと、白糸と比較して黒糸の撚りが甘く、またフィラメントカウントの多い細い繊維を使用していると思われ、切れやすかったのではないかと						
今後の対策		①テキスタイル ・繊維組織を詰める。糸の構造ではフィラメントカウントを下げて強度を上げる ・抗スナック加工を施す。風合いを損なわないよう注意する ②アパレル ・引っかけや摩擦などによって、糸が飛び出しやすいことを取扱注意表示や下げ札に記し、販売時に説明する 「生地から糸のとんでいる部分があります。ひっきりにはご注意ください。」 ③試験 ・スナッキング試験を実施する。色差のある織糸を使用している場合、濃色の糸のみが飛び出していないかなど試験布の外観を確認する。スナックの数ではなくイメージを見ることが必要 ・バッグと擦れあったことが原因とするならば、A法だけではなくD法も推奨される ④クリーニング ・クリーニング時はネットを使用するなど、摩擦が発生しないよう注意して処理する						
その他								
								
		図1 苦情品の外観						